

業績目録（消化器内視鏡に関する論文・講演など）
1) 本学会の学術誌 (Gastroenterological Endoscopy、Digestive Endoscopy、DEN Open) または Progress of Digestive Endoscopy、Endoscopic Forum for Digestive Disease を含む医学中央雑誌、Pubmed に掲載されている学術誌に発表した、消化器内視鏡に関する論文（筆頭者または共著者）についてご記入下さい。 2) ①原則として、最近5年以内に、本学会総会（演者3名以内）または支部例会（演者10名以内）において、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、特別講演等に演者として参加したものについてご記入下さい。 ②原則として、最近5年以内に、本学会総会または支部例会、学会セミナーもしくは支部セミナーにおいて、講師、司会もしくは座長を務めたものについてご記入下さい。 ※抄録かプログラムのコピー（A4サイズ）を添付し演題番号に○をつけて下さい。その総会（支部例会）等の名称、第何回のものか、申請者の名前が明記されているものに限りします。 【申請規定】上記1)と2)を原則満たさなければならない。ただし、上記1)または2)①のいずれか一つが筆頭者であった場合は、前述に代えて条件を満たしたものとする。 ※上記1)または2)①のいずれか一つが筆頭者であること。
1) 論文
<u>Akita T</u>, Aomori J, Iwate I. Long-term outcomes and prognostic factors with non-curative endoscopic submucosal dissection for gastric cancer in elderly patients aged ≥ 75 years. Gastric Cancer.2019;22(4):838-844. Aomori J, Iwate I, <u>Akita T</u>, Yamagata S. Risk Factors for Post-gastric Endoscopic Submucosal Dissection Bleeding With a Special Emphasis on Anticoagulant Therapy. Dig Dis Sci.2019;65(2):557-564. 秋田太郎, 宮城五郎, 福島四郎. 潰瘍性大腸炎における拡大内視鏡所見 病態および腫瘍性病変診断の点から. 胃と腸. 2019;54(1):67-75.
2) ①講演
秋田太郎. 十二指腸非乳頭部腫瘍におけるクリスタルバイオレット染色拡大内視鏡所見の有用性. 第97回日本消化器内視鏡学会総会. 2019年. 東京. (ワークショップ) 秋田太郎, 青森次郎, 岩手一郎, 山形三郎. 大腸上皮腫瘍におけるNBI拡大内視鏡下の血管密度の検討. 第161回日本消化器内視鏡学会東北支部例会. 2018年. 仙台. (ワークショップ) 岩手一郎, 秋田太郎, 宮城五郎. 免疫チェックポイント阻害薬併用・スイッチ治療による大腸炎の特徴. 第164回日本消化器内視鏡学会東北支部例会. 2020年. 仙台. (シンポジウム)
2) ②講師、司会もしくは座長
第97回日本消化器内視鏡学会総会（2019年. 東京）一般演題「胃瘻」座長
第164回日本消化器内視鏡学会東北支部例会（2020年. 仙台）一般演題「十二指腸1」座長
以上